



- ・はじめに

1. 包括的民間委託とは

2. 熊本市の提案する包括的民間委託

3. 意見交換内容

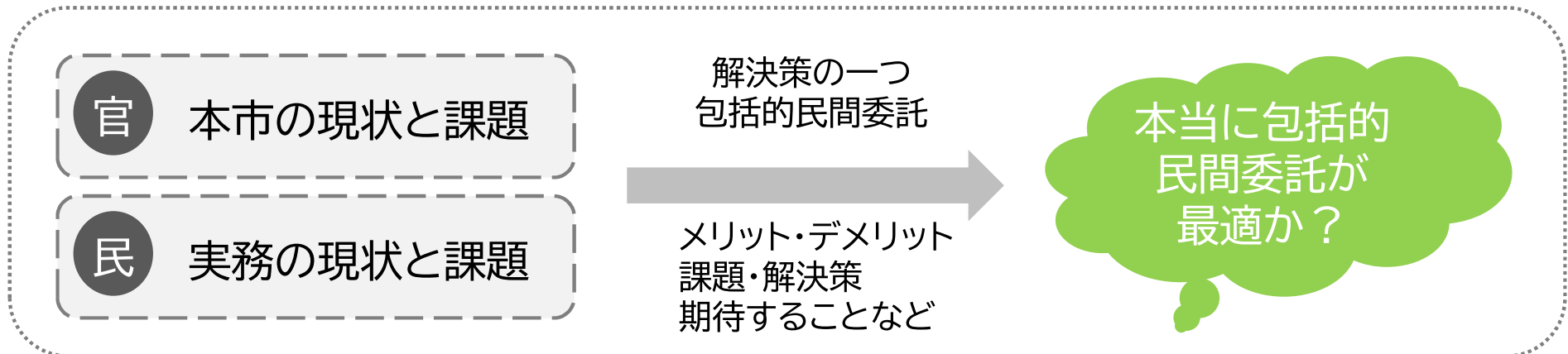
このマーケットサウンディングの目的は…

① 包括的民間委託に対する受注ニーズの把握

② 包括的民間委託の課題やその解決策について意見交換



民官双方にメリットのある包括的民間委託の
実現の可能性について、ご意見いただきたい



なぜ、検討が必要なのか…

- ・ 熊本市の橋梁管理数は、九州の市町村で一番多い約3,000橋を有する
- ・ 国も通知や手引き作成を行い、自治体の積極的な導入検討を促している

■ インフラメンテナンスにおける課題

発注者

予防保全
への転換

維持管理
業務の質

橋梁補修の
加速化

業務効率化

限られた
予算・人員

持続可能性

事業者

新技術の
活用

担い手の
高齢化

・ 事業者の裁量が多いため、創意工夫やノウハウを活かし、効率的・効果的に維持管理が期待できる⇒「包括的民間委託」の導入が解決策の一つ

PPP(Public Private Partnership)

公共施設等の建設、維持管理、運営等を**行政と民間が連携**して行うことにより、民間の創意工夫等を活用し、財政資金の効率的な使用や行政の効率化等を図るもの。

PFI(Private Finance Initiative)

PFI法に基づき、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法

公共施設等運営権制度を活用したPFI事業(コンセッション事業)

サービス購入型PFI事業

公共が支払うサービス購入料で費用を回収する

収益型PFI事業

収益施設の併設・活用など事業収入で費用を回収する

利用料金徴収

包括的民間委託

受託した民間事業者が創意工夫やノウハウの活用により効率的・効果的に運営できるように、**複数の業務や施設を包括的に委託**すること。

指定管理者制度

指定管理者が地方公共団体に代わって管理を行う。使用許可の行政処分の一部についても、指定管理者に委任することができる。

検討の流れ

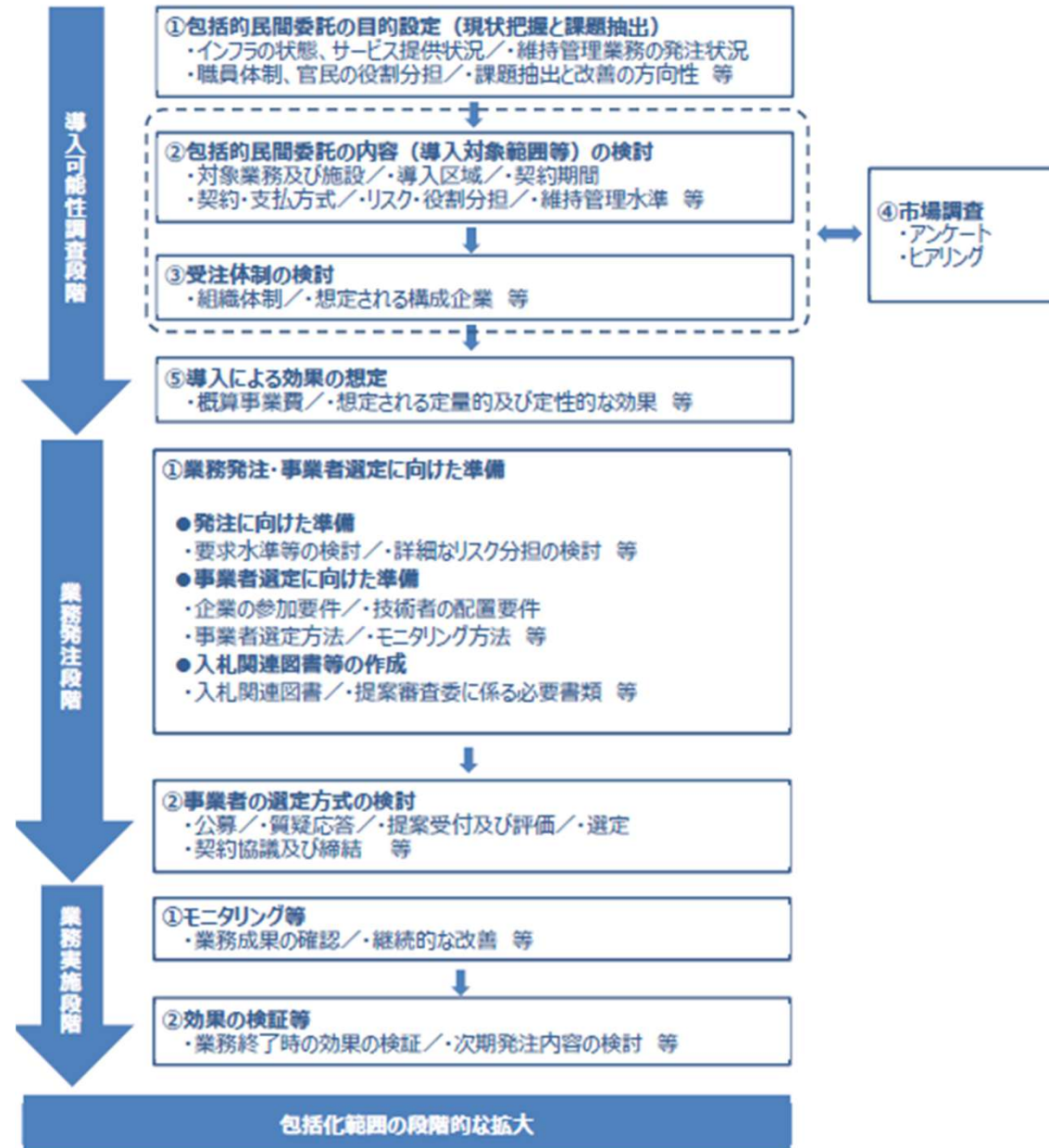
今ココ！

① 導入可能性調査初期段階
→意見交換実施

② 導入判断前
対象エリア、業務範囲、施設、
契約期間、裁量、発注方式、
支払方式など検討

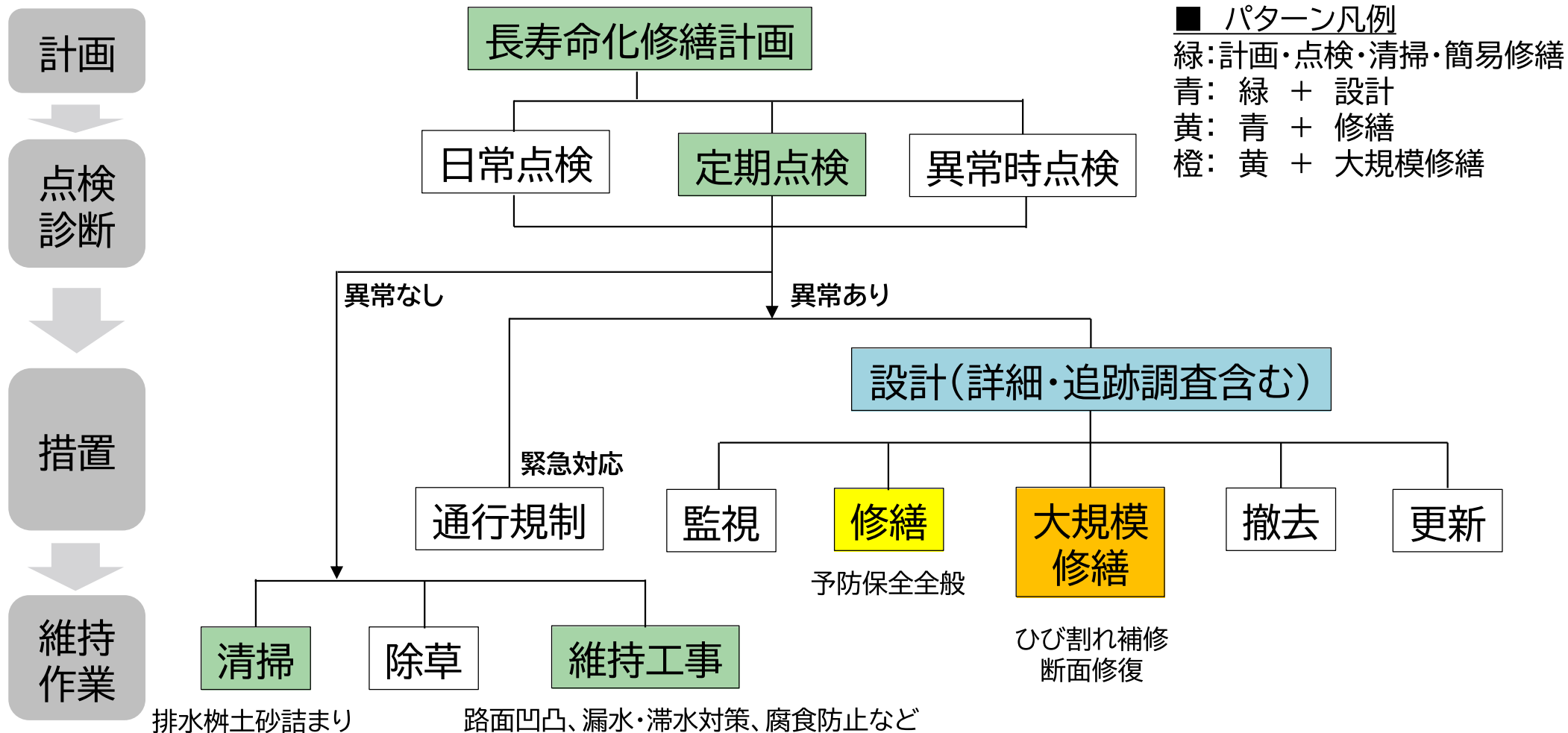
※ 導入判断

③ 業務発注前、仕様書作成時
→詳細な内容を検討



包括的民間委託のイメージ

■ 包括が想定できる業務パターン



■ パターン凡例

- 緑: 計画・点検・清掃・簡易修繕
- 青: 緑 + 設計
- 黄: 青 + 修繕
- 橙: 黄 + 大規模修繕

その他にも道路構造物法定点検は、

★5年に1回

・トンネル ・大型カルバート ・門型標識 ・横断歩道橋

★その他

・照明灯 ・土工構造物(盛土、切土、標識、道路情報板、舗装)

- ・はじめに

1. 包括的民間委託とは

2. 熊本市の提案する包括的民間委託

3. 意見交換内容

- ・ 熊本市では、これまで過去2回にわたってマーケットサウンディングを実施「橋梁の包括的な維持管理の検討」（R5、R6年度）

■ 過去のマーケットサウンディングでの主な質問・意見

- ・ 包括の内容については、スモールスタートが良いのではないか
- ・ 発注方法については、どのようなものを想定しているのか
- ・ 参加資格や技術要件については、どのようなものを想定しているのか

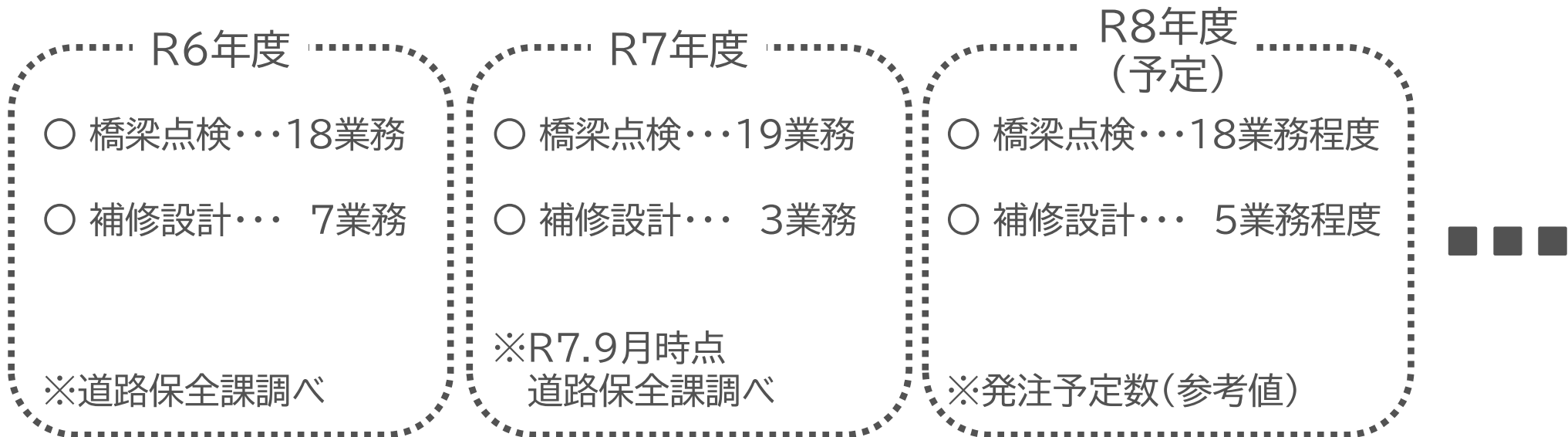


・ 橋梁の持続可能な維持管理の実現に向けて、まずはスモールスタートから試行して、実現可能な事業スキーム・事業範囲を提案し、事業者とともに導入可能性を検討していく

熊本市の提案する包括的民間委託(1)

- 熊本市では、3,012橋(南区:1,450橋、西区:620橋、北区:353橋、東区:325橋、中央区:264橋)を管理
- 2巡目点検(R1~R5)で新たに119橋が健全度Ⅲと診断

熊本市の橋梁に関するコンサルタント業務発注状況



■ 包括的民間委託(スモールスタート)

- ・ ケース①：橋梁点検業務の包括（単年～複数年）

南区その1・・・企業体：	4社、橋梁数	725橋
南区その2・・・企業体：	4社、橋梁数	725橋
西区・・・・・・・・企業体：	4社、橋梁数	620橋
北区・・・・・・・・企業体：	2社、橋梁数	353橋
東区・・・・・・・・企業体：	2社、橋梁数	325橋
中央区・・・・・・・・企業体：	2社、橋梁数	264橋
合計・・・・・・・・企業体：	18社、橋梁数	3,012橋

- ・ ケース②：ケース① + 補修設計（単年～複数年）
- ・ ケース③：ケース② + 日常維持管理（単年～複数年）

■ 包括的民間委託(スモールスタート)によるメリット

自治体

- 発注作業の効率化による業務負担の軽減が期待できる
- 計画的な新技術の活用等により業務コストの縮減が期待できる

受託者

- 長期安定的な業務量が確保でき、経営安定化が図れる
- 新技術の計画的活用や創意工夫による収益拡大も期待できる

- ・はじめに

1. 包括的民間委託とは

2. 熊本市の提案する包括的民間委託

3. 意見交換内容

意見交換したいこと

① 率直な感想

② メリット

(例:包括的民間委託に期待すること)

③ デメリット

(例:設計及び維持管理を組み合わせることで生じる問題)

④ その他懸案事項